



子ども安全の日の集い

毎月17日は『子ども安全の日』

平成16年11月に奈良市で発生した小学生女児誘拐殺害事件から19年が経過しようとしています。事件直後より、子どもたちの安全対策が喫緊の課題となり、全国各地で様々な取組が開始されました。この集いは、二度とこのような事件を起こさせないことを誓い、「地域の子どもは地域で守る」取組を行っている大人たちの意識を高め合い、そして、子どもたちに「自分の命は自分で守る」ための「危険予測・回避能力」を身につけさせるために考え、行動するための機会とします。

令和5年

11月12日 日 10:00から11:30

(受付 9:30から)

奈良市教育センター（はぐくみセンター） 9階 大講座室

奈良市三条本町13番1号 アクセス JR奈良駅より南方向徒歩5分

第1部

開会行事

10:00~10:20

- ・ 黙祷
- ・ 主催者挨拶
- ・ 来賓挨拶

第2部

講演会

10:25~11:20

○講演会

『学校安全の教訓を伝承し、次代の命へと
つなぐ学校危機マネジメント』

奈良学園大学 教授 松井 典夫 氏

閉会行事

11:25~11:30

- ・ 閉会挨拶

※参加者を市立学校及び各中学校区少年指導協議会代表者に限定して行います。当日参加は受け付けておりませんのでご了承ください。

※当日の会場の模様をライブ配信いたします。

ライブ配信はこちらから



主催
後援

奈良市・奈良市教育委員会
奈良警察署・奈良西警察署・天理警察署・奈良市自治連合会
奈良市少年指導協議会・奈良市PTA連合会・奈良市立学校長会

「なら子ども安全宣言」～私たちにできること～

私たちは、地域の方々、青バトさんや家族に守られて、今こうして安全に生活することができています。

私たち、奈良市の児童生徒は、

- 一、「11月17日」を命の尊さについて考え、安全な生活を送ることの大切さを感じる日とします。
- 一、多くの大人の皆さんに見守られていることへの感謝を忘れず、私たちにできることを考え、行動します。

わたしたちは、小学生として、

- 一、自分の命を自分で守ることができるように、いつも心がけて行動します。
- 一、見守ってくださっているみなさんに感謝し、気持ちをこめてあいさつをします。
- 一、自分たちだけでなく、まわりの人たちもこわい思いや悲しい思いをさせないように、思いやりをもって行動します。

私たちは、中学生として、

- 一、一人一人の命と心を大切に、安全について話し合ったり考えたりする時間を持ちます。
- 一、交通ルールを守り、自分の身は自分で守ることができるように、普段の生活から安全を意識し行動します。
- 一、見守りがあることに感謝し、頼られる立場となるように、地域の行事へ積極的に参加します。

私たちは、高校生として、

- 一、正しく判断し自らの安全を守り、一人一人が周りを思いやってこそ生まれる「安全」に貢献します。
- 一、「守られる側」から「守る側」となるため、交通規範意識を高く持ち、小中学生の模範となります。
- 一、安全を再認識するだけにとどまらず、市内の小中高高等学校で連携し、安全意識を高める働きかけをします。

平成26年11月17日

「なら子ども安全宣言」作成ワーキンググループ

講師紹介

奈良学園大学 人間教育学部
教授 松井 典夫 (まつい のりお) 氏



1969年生まれ。大阪教育大学大学院教育学研究科(修士課程)卒業 修士(教育学)
大阪府公立小学校教員を経て、乱入殺傷事件で児童8人が犠牲になった大阪教育大学附属池田小学校に2005年から2014年まで勤務。同小の学校安全主任として、「安全科」創設とカリキュラム開発にかかわる。その後、2014年より奈良学園大学で教鞭をとる。

主著 「ながお先生と考える 学校安全36のナラティブ」(共著)教育出版 2014年
「どうすれば子どもたちのいのちは守れるのか」ミネルヴァ書房 2017年
「教師のための教育法規・教育行政入門」(共著)ミネルヴァ書房 2018年

「なら子どもサポートネット」
に登録をお願いします

<https://supportnet.naracity.ed.jp>

〈QRコード〉
QRコードの読み取り機能付きの携帯電話をお使いの方は、右のQRコードを使ってトップ画面にアクセスすることができます。

